

こんにちは、お庭番です。庭の手入れって、単に雑草を抜いたり木を整えるだけじゃないんですよ。先日、長年お手入れに入らせていただいているお客様から、嬉しい言葉をいただきました。

「ようやく、通報されなくなったんです」

実はそのお客様、遠方に住んでおられて、平塚に建物を所有していらっしゃる方なのですが年に2～3回、近隣から「草がひどい」と通報されていたいました。最近ではすっかり落ち着いて、そんな連絡もなくなったそうなのです。

作業に伺うたびに、ご近所の方にも「木村植物園でしっかり管理していますのでご安心くださいね」とお伝えしてきました。

お庭の草木が整ったことで、外観も印象もぐっと良くなり、何よりご本人が「気持ちが軽くなった」とおっしゃってくださいました。

その後のメールのやりとりでも「職人さんがいつも笑顔で嬉しかったです」と、はがきにまで感謝の言葉を綴ってください

るようになりました。

お庭の健康は、そこに暮らす人の心の健康につながる。そんな瞬間に立ち会えるこの仕事は素晴らしいと感じます。

遠方の方でもお庭の安心を提供したい。私たちはそんな気持ちでこの仕事に取り組んでいます。

これからも「見た目」だけでなく「気持ち」に寄り添うお庭づくりをお客様と一緒に考えていきます。寄り添った対応がご希望の方は木村植物園を選んでくださいね。



最近近くに来たカフェが
気になっている 市川

お庭や植木のお手入れのご相談は、**お庭番** まで（土・日曜日・祝日 定休日）  **0120-152-887** [ダイヤル3番]

今月のお手入れワンポイント

バラを来年も元気に育てるためには、年末に今年の葉は全部取り、ツルと幹だけにしましょう。病害が年越ししませんよ。

ふどりの処方箋

たった1本の木がくれる、豊かな時間

「なるべく手がかからない庭を」とご希望される方が増えています。せわしない毎日の中で毎日の草むしりや水やりは大変。ふと手をとめて緑に目をやる時間は、ほんのわずかでも、心をほっとほどこしてくれるものです。

新築やお引越し等、生活スタイルが変わる場面でお仕事のご依頼をいただく機会が多い弊社エクステリア事業部ですが、元々の生活スタイルは植物に触れる事が無かった方も多くいらっしゃいます。そういったお客様の植栽に携わせていただくと「70年以上生きてきて、芽吹きに感動したのは初めて」「50年振りに水やりをしたけど、いいものですね。これからが楽しみです」といわれる事も。

11月は、庭の木々も葉を落とし、次の季節へと静かに準備をはじめます。落ち葉や枝の片づけは、少し手間かもしれませんが。その手をかける時間が、自然と向き合う大切なひとときにもなります。

建築家の宮脇檀さんは、「庭は暮らしそのもの」と語っています。1.5坪の小さな庭でも、季節の草花に触れ、風と光を感じ



ることができる。たった1本の木でも、心の奥にある“自然とつながる感覚”を呼び覚ましてくれるのです。

紅葉の色づきとともに、私たちの暮らしにも深まるものがあります。今年の秋、あなたのお庭にも「たった1本の木」を迎えてみませんか？

今月もかわら版を
お読みいただき
ありがとうございます！

Webアンケート
ご協力のお願い

回答時間
5分
程度

かわら版をもっと皆様に喜んでいただける内容にするために、ぜひ感想を教えてください！
右のQRコードから、アクセスをお願いします。

